

# 「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

## どうする安保

### 医療生協九条の会が 第六回総会と学習交流会



に反映されていると考えられます。参加者数が減ってきている住民過半数署名行動の参加を増やすこと、学習したことを大々的に宣伝し、引き続き事業所単位で九条の会設立を目指すことが確認されました。

意見交流では、職員からは昨年夏と比べてピースキャンプ、辺野古

二〇〇六年一月に結成された医療生協九条の会の第六回総会が二月十九日(土)和歌山生協病院5階会議室にて開催され二三名の組合員、役員が参加しました。山本理事長の挨拶の後、DVD『どうする安保〜日米同盟とわたしたちの未来』の視聴学習をおこないました。

二〇一〇年活動報告が田畑事務理事よりありました。その中で雑誌『通販生活』誌がとりくんだアンケートで「日米安保条約はそろそろ解消」の回答が過半数を超えている、「武力を使わない安全保障をのぞむ」に4割以上の読者が賛成していることを紹介しました。これらはこの間の沖縄米軍基地移転を求めた沖縄県民の強い意志が全国的

言がありました。また小倉支部からは安保問題をもっと身近な問題に、那賀支部からは那賀九条の会を含め

### 「九条を守る運動休んでよい情勢ではない」由良弁護士講演

#### 「守ろう九条」紀の川市民の会が第七回総会



名行動など尻すぼみにならないよう活動強化が必要など発言がありました。

由良氏は民主党の改憲方針は一貫しているとして、05年10月の「民主党憲法提言」、06年5月の改憲手続き法提出、09年の「マニフェスト」で「05年提言をもとに憲法論議」と提起したこと、09年5月の「新憲法制定議員同盟」への参加などの事例を挙げて、詳しく説明されました。

3月6日、河北コミュニティセンター(和歌山市)で41名の会員の参加のもと、「守ろう九条」紀の川市民の会」第七回総会が開催されました。

開会に当り原通範代表委員は、「21世紀は私たち民衆の世紀だ。世界の中で戦争もなく平和に幸せに生きることを追求する世紀なんだ」ということを、この講演会、総会の中で考えていきたい」と挨拶されました。総会に先立ち、由良登信弁護士が「憲法9条をめ

ラク派遣も違憲ではない」との閣議答弁書の決定、10年3月に日米「(核)密約」報告書を公表したが密約を破棄せず、10年4月「外交青書」は日米同盟を日本外交の基軸とし、21世紀にふさわしい形への日米同盟の深化をうたうなど、自民党の路線となら変わることはない。

普天間基地の辺野古移転問題、尖閣諸島問題などから、10年12月に「新防衛大綱」を決定し、グローバルで機動的な活動を行う「動的防衛力構想」を打ち

### メア氏の沖縄県民への侮辱発言許せない

#### 和歌山市で九日宣伝



三月九日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは11時から12時までJ.R和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。3人がマイク

出した。こうした政策を推進する基盤を固めるため、「衆議院比例定数80削減」で、4割の得票で7割の議席獲得を狙っている。改憲手続き法が施行され、国会発議があれば国民投票ができる状態で、民主党の方針と動きは非常に危険であり、憲法9条を守る運動は休んでいい情勢ではなく、さらに続けなければならないと訴えられました。

法9条を持つ日本に米軍基地は要らない。メア米国防務省日本部長が、基地のない沖縄を願う県民を「ごまかしとゆすりの名人」と侮辱した発言は許せない。「防衛計画の大綱」が決定され、自衛隊の攻撃的役割と海外での武力行使を提唱するものとなっている。「国会議員の比例定数削減のねらいは消費税増税や憲法改悪などの悪政を推進しやすくするための体制を作るもの」と訴えました。

この日は和歌山市新婦人の五人含む計一四人の参加で九条署名一〇五筆が集まりました。